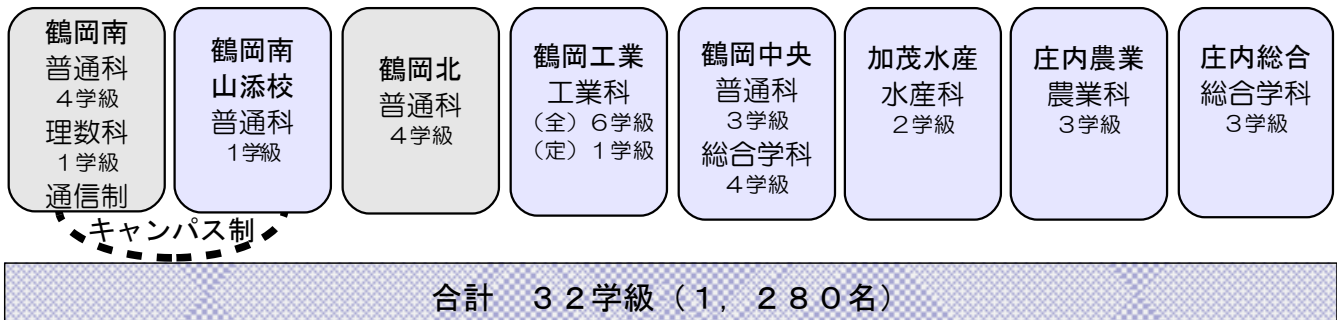


### 1 平成26年度の田川地区の県立高校の配置状況（予定）



### 2 平成27年度から平成36年度の田川地区の県立高校再編整備について

(1) 田川地区の中学校卒業生数の減少に対応して、平成27年度から平成36年度の10年間で、入学定員を8学級程度削減します。削減は全ての学科を対象とし、生徒の志願状況、これまでの学級減の状況、学科のバランス等を総合的に判断し、計画的に実施します。平成27年度については、鶴岡工業高校（全日制）を1学級減とします。

(2) 「田川地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会」の報告書を踏まえ、平成36年度を目処に次の方向で再編整備を行うこととします。具体的な学校の配置や学科構成等の在り方については、次期県立高校教育改革実施計画（仮称）期間（平成27年度から平成36年度）の中頃に検討を行います。

#### ① 高い志を育て生徒の進路目標達成を保障する普通科の充実

- ◇ 普通科を2校に集約し、適正規模を確保することにより、生徒が高い目標に向かい切磋琢磨する環境を整え、目標達成を支援する指導体制の充実を図ります。また、大学・研究機関と連携した探究活動やキャリア教育を充実させ、主体的に学ぶ生徒を育てます。
- ◇ 現状では地区内県立高校の普通科在籍生徒数の男女比に大きな偏りがあることから、平成27年度に、鶴岡北高校が実質的に男女共学となるよう、中学校や保護者等へ積極的に情報発信するなど、具体的な準備を行います。

#### ② 専門性の深化と異分野の連携による専門学科、総合学科の充実

- ◇ 工業科については、単科型専門高校として、ものづくり技術の進展や地域産業のニーズに対応した専門分野を学べる教育課程を編成します。
- ◇ 農業科、水産科については、総合学科と連携するなどして、6次産業化に対応した教育を推進します。小規模化がさらに進行し、単独での学校運営が困難となった場合には、\*校舎制の導入を検討します。
- ◇ 総合学科については、専門学科との連携などを通して、学びの幅を広げます。当面は現在の2校配置を維持し、生徒数の推移等を見ながら、在り方を検討します。

#### ③ 多様な学習ニーズに柔軟に対応する学習の場の確保

- ◇ 定時制・通信制等を統合し、多様な学習ニーズに柔軟に対応できる昼間定時制・通信制併設高校の設置について検討します。特別支援教育の充実を図るとともに、個に応じた学習進度、学習時間、学習場所等の選択が可能な教育課程について検討します。

※ 校舎制とは、複数の学校を統合した上で、専門学科の実習等のために、移設が困難な既存の実習施設も活用していくという学校運営の形態

### 3 当面の各校の整備方針

#### 鶴岡南高校（普通科 理数科 通信制）

- 主体的に課題解決を図る態度と学力を育成するため、最先端の研究機関や大学と連携するなどして、探究的な学びを重視した教育を推進します。
- 通信制課程については、生徒一人一人の多様な学習歴、学習ニーズに柔軟に対応し、個別指導の充実を図るとともに、社会性を伸ばすキャリア教育の取組みを推進します。

#### 鶴岡南高校山添校（普通科）

- 地域社会の活性化に貢献できる力を育成するため、きめ細かな指導を通して、基礎学力の定着を図るとともに、本校とのキャンパス制を導入し、体験活動やボランティア活動など、地域と連携した教育を推進します。

#### 鶴岡北高校（普通科）

- 平成27年度からの実質的な共学化に向けて、男子生徒の受け入れに向けた態勢を整え、中学生向けの説明会など、積極的な広報活動を行います。
- 生徒の多様な進学希望の達成を最大限に支援できるよう、進学重視型の単位制を活用し、幅広い選択科目を配置するなど、きめ細かな学習指導を推進します。

#### 鶴岡工業高校（工業科 全日制 定時制）

- 中学校卒業者数の減少に対応し、平成27年度に工業科を1学級削減します。
- 高い専門性を維持し、将来の地域産業の担い手を育成するため、ものづくり技術の進展や地域産業のニーズに対応した学科構成を検討します。
- 定時制課程については、学び直しの指導の在り方について研究を深めるなど、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒への指導の充実を図ります。

#### 鶴岡中央高校（普通科 総合学科）

- 普通科については、研究機関との連携などにより、探究的な活動の充実を図り、学ぶ意義を自覚させ、生徒一人一人のキャリア形成を支援する教育を推進します。
- 総合学科については、生徒の多様な興味・関心や進路希望に対応できるよう、各系列のこれまでの学習内容を更に充実させ、特色ある教育を推進します。

#### 加茂水産高校（水産科）

- 県内唯一の水産科として、地域産業の発展に貢献できる力を育成するため、実習船を活用した学習を充実させるとともに、栽培漁業や食品製造など、海洋資源の活用に必要な知識と技術を身に付けさせる教育を推進します。

#### 庄内農業高校（農業科）

- 庄内唯一の農業科として、地域産業の発展に貢献できる力を育成するため、地域や研究機関との連携を強化するなどして、特産品の活用など、農業の6次産業化に対応できる実践的な知識と技術を身に付けさせる教育を推進します。

#### 庄内総合高校（総合学科）

- 地域社会の活性化に貢献できる力を育成するため、地域との交流を通じたキャリア教育を充実させ、コミュニケーション能力の向上を図るなど、地域に根ざした総合学科の教育を推進します。